

## 第4回 大和川流域水害対策協議会 議事概要

開催日時：令和5年1月16日（月） 15:00～16:30

開催場所：奈良ロイヤルホテル（鳳凰の間・朱雀の間）

出席者：近畿地方整備局（局長、建政部長、河川部長）、奈良県（知事、副知事、危機管理監、水循環・森林・景観環境部理事、食と農の振興部長、県土マネジメント部長、地域デザイン推進局長）、自治体（奈良市建設部長、大和高田市市長、大和郡山市市長、天理市長、橿原市長、桜井市都市建設部長、御所市長、生駒市建設部長、香芝市長、葛城市市長、平群町長、三郷町長、斑鳩町都市建設部長、安堵町長、川西町長、三宅町長、田原本町長、高取町長、明日香村地域づくり課長、上牧町長、王寺町長、広陵町長、河合町長、大淀町建設環境部長）、近畿農政局 洪水調節機能強化対策官、近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所長、近畿地方環境事務所長、近畿財務局 奈良財務事務所長、奈良地方気象台長、奈良県防災士会理事長

### 《議事概要》

大和川における河川事業の整備状況や雨水貯留浸透施設等の整備状況、奈良県平成緊急内水対策事業の見える化、土地利用規制の概要・検討方針について説明を行い、意見交換を行った。

主な意見は以下のとおり。

### ○流域水害対策計画の実施に係る取組状況等の共有

- ・ 意見なし。

### ○流域水害対策計画の実施に係る検討

#### 1)奈良県平成緊急内水対策事業の見える化

- ・ 意見なし。

#### 2)土地利用規制の概要・検討方針について

##### ＜田原本町長＞

- ・ 特定都市河川浸水被害対策法で一つの肝になるのが、土地利用規制であると認識をしており、ぜひ田原本町で指定に向けての取組を進めていきたい。しかし、町として所有している情報が想定最大規模降雨で想定されたハザードマップであり、これだけではなかなか住民へ説明していくにあたり、特に浸水リスクが高く、危険な箇所がどこなのか説明するのが難しい。水害リスクマップなどの情報提供をお願いしたい。

##### →＜事務局＞

- ・ 現在、国で水害リスクマップの作成を進めており、今年度中に公表する予定である。また、県が管理する河川においても、まずは水位周知河川を対象に国と連携しながら作成に向けて、現在検討を進めているところである。

#### <三宅町長>

- ・ 三宅町には浸水常襲地が存在しているが、都市整備、下水道整備等が進んだことにより、整備後一度も浸水しておらず、実態とずれたところも多少見受けられるのではないかと。水害リスクマップの作成にあたっては、整備後の効果も十分考慮して検討いただきたい。

#### →<事務局>

- ・ そういったことがないように、地元説明会やワークショップ等の中で実態を把握していきたい。

### ○その他

#### <三郷町長>

- ・ 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策や特定都市河川指定により、見える化が進んできたと感じている。令和7年度が最終年になるが、このままスケジュールどおり頑張ってもらいたい。奈良県の大和川流域において水害が起こらないようにしていただければありがたい。

### ○総括

#### <知事>

- ・ 本会議の目標は、大和川流域水害対策計画の目標達成に向けた内水対策や外水対策について見える化と情報共有を図るということである。本日の資料を見てみると、相当整備が進んでいることを感じる。内水対策については市町村長の奮励努力だと思われるし、外水については国のおかげだと思う。奈良県の場合、用地買収が一番のキー・ファクターであったが、このように見える化することによって周辺住民に対しても理解が得やすいのではないかと考えている。引き続きこの100分の1規模降雨の内水対策をしっかりと続けていけたらと思うので、よろしくお願い申し上げます。

#### <局長>

- ・ 土地利用規制の検討をいよいよ具体的に進められていくことについて確認ができた。また、奈良県平成緊急内水対策については、事業進捗の見える化を図り、流域全体で取り組みを推進していくことについて確認できた。今後とも協議会の皆様と連携強化しながら実効性のある流域対策を進めていきたい。

以上